

第13回 いかんしょ!会津ふれあいコンサート



木村 俊介
(笛・三味線)



河 栄守
(チャンゴ、コムンゴ)



坂田梁山
(尺八)



堀友紀子
(インド舞踊(バラタナテイヤム))



稲葉美和
(箏(ソウ))



西田ひろみ
(ヴァイオリン)



木村たかのぶ
(ドラム・パーカッション)



金栄実
(伽耶琴(カヤグム))

〈順不同〉

東風 もう一つの シルクロードから

朝鮮半島の民族楽器と和楽器(邦楽器)・洋楽器とのコラボ



2024.8.3(土) 場所 会津若松市文化センター
開場 17:00 / 開演 17:30

主催 会津清掃有限会社・福島産業有限会社・株式会社ニヘイ
協賛 第一清掃有限会社・会津若松市浄化槽清掃維持管理協同組合

整理券のお求めは、会津若松市文化センター【☎0242-26-6661】または、会津清掃有限会社【☎0242-27-0269】まで



プログラム

【一部】 独奏と楽器紹介

- 1. コムンゴ独奏・伽耶琴 二重奏 「出銅」 河 栄守 / 金 栄実
- 2. 尺八独奏 「片足鳥居の映像」 坂田 梁山
- 3. 十三絃箏独奏 「鮎の川」 稲葉 美和
- 4. アラブヴァイオリン独奏 「サマーイビジェズカルクルディ」 西田ひろみ
- 5. チャンセナブ独奏 「アリランメドレー」 河 栄守
- 6. インド舞踊 「ナテーシャカウトゥーバム」 堀 友紀子
- 7. 伽耶琴独奏 「トラジ」 金 栄実
- 8. 能管独奏～篠笛・二十絃箏合奏 「青雲の下」 木村 俊介 / 稲葉 美和

～休憩～

- 【二部】 1. インド舞踊 「ティッラーナ」 堀 友紀子
- 2. 西洋音色・朝鮮半島の民族楽器と和楽器(邦楽器)とのコラボ
音楽劇～東風～もう一つのシルクロードから
- 3. 韓国ドラマ挿入歌メドレー



坂田 梁山
(尺八)

香川県生まれ。神戸大学在学中より岸原周山・川村泰山に師事。NHK邦楽技能者育成会第30期を卒業し、第13回都山流本曲コンクール金賞・文部大臣賞受賞他、各種コンクールで受賞。鬼太鼓座公演、劇団四季ミュージカル、片岡鶴太郎主演ミュージカル参加に加え、小椋佳、南こうせつ等のコンサートにも参加し、多くのミュージシャンと共演、海外公演も数多く行う。CD録音、テレビ(題名のない音楽会他)、ラジオ(邦楽ジョッキー他)にも多数出演。尺八を中心としたバンドを率いてCD制作をする等、古典から現代音楽に至るまで幅広く活動を行う。都山流尺八大師範。



金 栄実
(伽耶琴
カヤグム)

カヤグム奏者。金剛山劇団を卒業後は楽器の道を一旦離れ活動をお休みしていたが、2022年より演奏家として活動を再開。楽器演奏、楽器指導、YouTubeで演奏動画配信など様々な分野で活躍している。カヤグムの音色でたくさんの人を癒やしていけるよう日々奮闘中!



河 栄守
(チャンセナブ、
杖鼓、弦琴 演奏家)

在日3世。平壤国立音楽大学に留学。チャンセナブをはじめ民族音楽を学ぶ。金剛山歌劇団に入団し、日本全国ツアーや朝鮮、韓国、ニューヨーク等で公演。1997年、歌劇団初の器楽ユニット(HYANG)を結成。2018年、河栄守リサイタル(History)を新宿文化大ホールで上演。同年、ソロアルバム(History)をリリース。ソリストとして活躍するとともに、民族楽器を学ぶ全国のウリハッキョの学生指導にも力を注いでいる。南北朝鮮半島で公演した数少ないアーティストとして日々模索を続ける。歌劇団活動を経て現在、民族音楽研究所代表として朝鮮半島の民族音楽とジャンルを超えた音楽の世界を探求している。KYOTO Korea Art Academy講師。



木村たかのぶ
(ドラム・パーカッション)

59年、東京生まれ。83年東京キッドブラザース「SHIRO」の全米ツアーに参加。その後、同劇団の舞台音楽制作、研究生の指導に携わる。92年より薩摩琵琶の坂田美子らのグループ「びかむ」に参加。96年より春日博文(元カルメンマキ&OZ)、寺岡信芳(アナキー)、ピョンインジャ(韓国舞踊家、歌手)らの「東京ビビンクラブ」に参加。02年より新田昌弘(津軽三味線)のレコーディング、コンサートに参加。08・09年ミュージカル「もうひとつのシルクロード」東京・ソウル公演に参加。ジャンルにとらわれず幅広く活動中。



稲葉 美和
(箏)

4歳より生田流箏曲を学ぶ。CD「遠くの雨」「あおのむこう」(コントラバスとのデュオ)、「桜の咲くころに」(箏ソロ)等。オリジナル曲を中心としたコンサート活動をする他、NHKスペシャル「大地の子を育てて」(2005年日本賞グランプリ受賞番組)を始めとするTV、ラジオ番組等の音楽制作参加や出演、小椋佳やヤドランカのコンサートツアーに参加するなど、個性的で心地よい音づくりを追求し、邦楽器の為の作曲・編曲も多数。H.24年度宮城道雄記念コンクール作曲部門第一位。



西田ひろみ
(ヴァイオリン)

ヴァイオリンを江藤俊哉、篠崎功子、竹内茂に師事。1995年作曲家冷水ひとみと微分音グループ、シジジーズを結成。ライブ活動、TV、CM音楽制作を行い、TZADIKレーベルより2作品をリリース。1995～98年、エジプト、カイロに滞在。アラブヴァイオリンをアブドダギールに師事。現地のミュージシャンと共演しTV出演、エジプト国内、ヨーロッパ公演に参加。帰国後もレバノン、チュニジア、エジプト、アメリカなどで様々なグループの公演に参加する。2013年シジジーズの新作「otona」をリリース。2015年、イタリアポローニャでのアンジェリカフェスティバルに出演。邦楽器との共演も多く、ジャンルを超えた微分音ヴァイオリンのスペシャリストとして活動している。



堀 友紀子
(インド古典舞踊
バラタナティヤム)

2001年より南インド古典舞踊バラタナティヤムを始める。現在Nrithya Lakshana Japan主宰・山元彩子氏に師事。2007年インド・チェンナイにて、アランゲトラム(初ソロ公演)。その後日本においてもソロ公演を度々催し、東京を中心に、北海道、熊本、東北、インド、シンガポールなど、国内外でパフォーマンスを行っている。バラタナティヤムによって広がる世界に魅せられ、踊り続けている。<https://yukiyamini.com>



木村 俊介
(笛・三味線)

和楽器奏者(笛・三味線他)として活動する一方、作曲・音楽監督等を行う。演劇や舞踊など、様々な舞台作品の音楽を担当する他、自主公演では、国内外からの多彩なゲストと共に、文学・絵画などをモチーフとした斬新かつ独創的な作品を発表し続けている。海外での活動も多く、これまでに、世界35か国にて演奏。2020年より、エッセーとCDによる会員制季刊誌「音之文」(オトシブミ)を発行。

(順不同)

- (司会)
-
-
-
-

- 音楽監督 木村 俊介
- 音 響 金 曾 武 彦
- 全体監修 康 明 姫
- 制 作 民 俗 工 房

